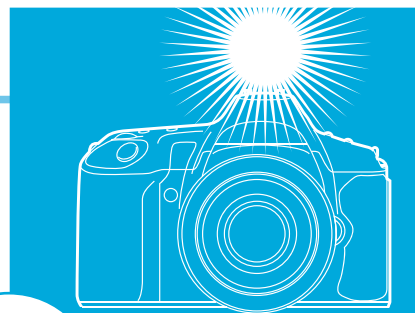


▼足の力を調査する検査を視察する両陛下



CAMERA NEWS

6

カメラニュース

月

天皇、皇后両陛下、大府をご訪問

両陛下、長寿医療研究を視察

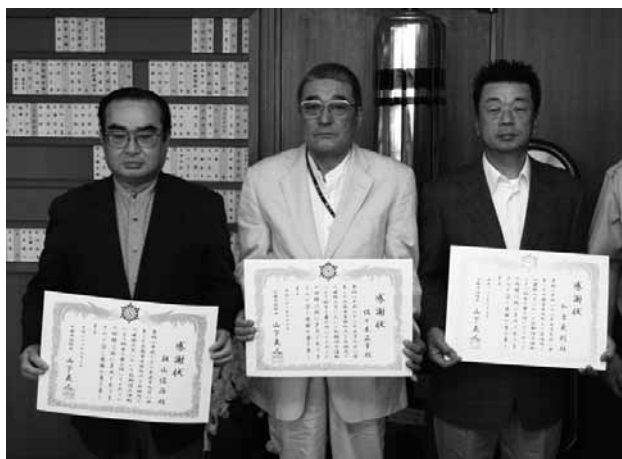
15日、天皇、皇后両陛下が、国立長寿医療研究センターをご訪問されました。同センターでは、長寿医療を実施し、老化、老年病の研究を推進しています。両陛下は、認知症や骨粗しょう症などの防止に取り組む研究の一環として、転倒しやすい歩き方を調査する歩行検査や足の力を調査する検査などを視察されました。

初期消火活動に感謝状贈呈

ご近所の力が大惨事を防ぐ

3日、初期消火活動によって、火災被害を最小限にとどめた功績をたたえて、佐々木正幸さん、浅山俊治さん、加古義則さんに感謝状が贈呈されました。

3人は、近隣宅物置からの出火に、自宅の散水用ホースや街頭消火器を使用し、初期消火を行いました。「日ごろからの近所づきあいや防火体制などが大切」と話しました。



▲感謝状を手にする浅山さん、佐々木さん、加古さん(写真左から)

▼シーツを煙に見立て、火災から逃げる姿勢を覚える児童



地域防災スクールモデル事業 防災学習

地域が一体となって防災力アップ

1日、地域防災スクールモデル事業が、共和西小学校で始まり、地元共和西自主防災会のメンバーらが講師となって、防災学習が行われました。3年生は、火災が起きたときに身を守る避難方法などを学びました。参加した児童は「煙は毒で、吸わないように早く逃げないといけないことがよく分かった」と感想を話しました。

青年海外協力隊員 市長表敬訪問

世界で活躍、日本の医療

14日、アフリカのベナン共和国に青年海外協力隊員として、2年間活動する看護師の鈴木詩子さん（あいち小児保健医療総合センター）が、市役所を訪れ、久野孝保市長に抱負を話しました。鈴木さんは「現地では、母子を対象に予防接種や衛生指導などの活動をし、ベナンの人たちが幸せになれるようがんばりたい」と意気込みを話しました。



▲現地での意気込みを話す鈴木さん

大府市制40周年記念 トークライブ「沖縄民謡とエイサー」

会場をやさしく包み込む音色

19日、勤労文化会館で、「沖縄民謡とエイサー」と題し、沖縄出身で市内在住の仲底豊蔵さん（沖縄横笛）と小山文雄さん（三線）の沖縄民謡と「わたしたユンタクまいふなエイサー」のエイサー踊りを演奏・披露しました。やさしく包み込むような民謡と踊り子たちが舞いながら威勢のよいかけ声と太鼓を打ち鳴らすエイサーが、会場を盛り上げました。



▲労働歌などの八重山古典民謡を披露する仲底さん（写真左）ら

▼熱心に踊りを覚える参加者ら



盆踊り講習会

夏祭りに向けて

12日、市民体育館で、大府ばやし小唄保存会や地域婦人団体連絡協議会など約250人が参加し、盆踊り講習会が開催されました。講習会では、参加者は、市内各地で行われる夏祭りなどで踊る「大府ばやし」「大府小唄」「大府音頭」に加え、「音頭七福神」など新曲4曲の振り付けを日本民謡研究会の会員らから、熱心に体得していました。

▼市役所市民健康ロビーで演奏する前田さん（写真右）ら



大府市制40周年記念 ロビーコンサート

動物たちの世界を音で描写

16日、市役所市民健康ロビーで、「フルートのしらべをピアノにのせて」と題し、市内在住の前田里奈さんによるフルートと西田奈津子さんと久保智里さんによるピアノ連弾で「ジャック＝イベル／小品」「エドワード＝エルガー／愛の挨拶」「カミュ＝サンサーンス／動物の謝肉祭」を演奏。訪れた約120人の聴衆を魅了しました。